

## 米取引関係者の判断に関する調査結果 (平成26年9月分)

公益社団法人米穀安定供給確保支援機構（米穀機構）は、米の需給動向や価格水準などの取引状況を把握することを目的に「米取引関係者の判断に関する調査」を毎月実施しています。

平成26年9月分の調査概要については次のとおりです。

なお、掲載しているグラフ等については、これまで平成23年5月分から掲載してきましたが、今回の公表から2ヵ年分を掲載します。

### 【調査概要】

米取引関係者に対して、需給動向や価格水準などの取引動向に関するアンケートを実施し、その結果をDI<sup>※</sup>として算出したものです（詳細は6ページ参照）。

### 平成26年9月分の主な調査結果

主食用米の需給動向は、現状判断、見通し判断とも前月に比べ「横ばい」となりました。

また、米価水準については、現状判断は「大幅に減少」し最低水準を更新しましたが、見通し判断は「やや増加」となり、高くなるというトレンドに変わりました。

#### ■主食用米の需給動向

- ア. 現状判断 16（前月からの増減 -1）
- イ. 見通し判断 19（前月からの増減 ±0）

#### ■主食用米の米価水準

- ア. 現状判断 16（前月からの増減 -8）
- イ. 見通し判断 23（前月からの増減 +4）

※DI（Diffusion Index）

アンケート回答者の判断や方向性を指数化したものです。

# 米取引関係者の判断(平成26年9月)

## 1. 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断(全体)

### ①主食用米の需給動向

#### (ア)現状判断DI

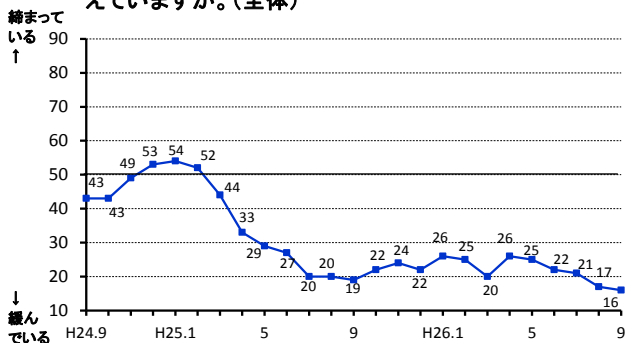
前月からの増減 -1 (今月の数値 16)

#### (イ)見通し判断DI(向こう3ヶ月)

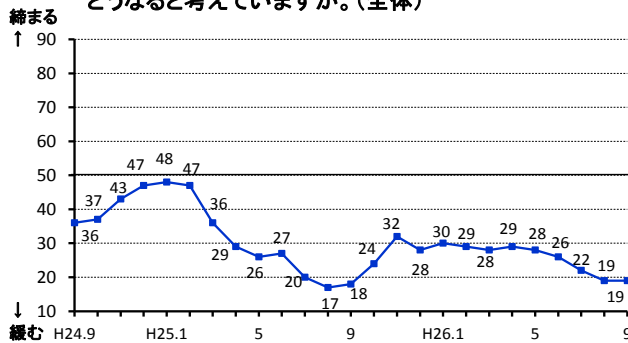
前月からの増減 ±0 (今月の数値 19)

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「(将来)締まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来)緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

#### ①-ア 国内の主食用米の”現在の需給動向”について、どう考えていますか。(全体)



#### ①-イ 国内の主食用米の”向こう3ヶ月の需給動向”について、どうなると考えていますか。(全体)



### ②主食用米の米価水準

#### (ア)現状判断DI

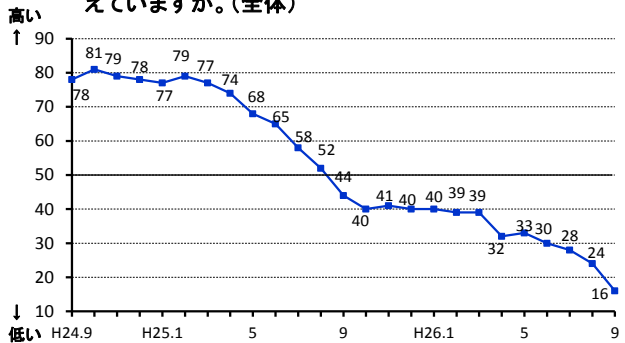
前月からの増減 -8 (今月の数値 16)

#### (イ)見通し判断DI(向こう3ヶ月)

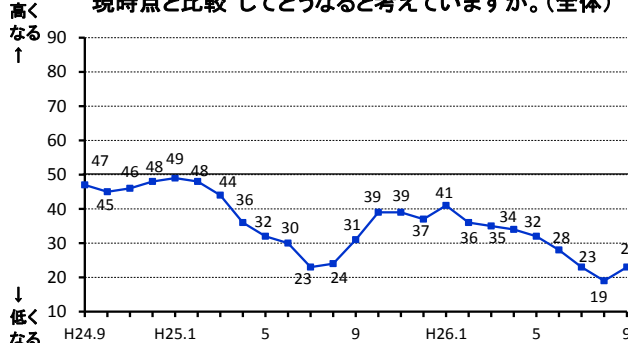
前月からの増減 +4 (今月の数値 23)

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「米価水準が高い」/「米価水準が高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「米価水準が低い」/「米価水準が低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

#### ②-ア 国内の主食用米の”現在の米価水準”について、どう考えていますか。(全体)



#### ②-イ 国内の主食用米の”向こう3ヶ月の米価水準”について、”現時点と比較”してどうなると考えていますか。(全体)



### ③ 取引関係者が①及び②の判断を行うに当たり、主に考慮した要因

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
H24.9	30%	4%	0%	44%	11%	4%	6%
H24.10	20%	10%	3%	40%	19%	6%	2%
H24.11	11%	11%	3%	49%	16%	7%	3%
H24.12	9%	11%	2%	51%	17%	5%	5%
H25.1	6%	12%	5%	50%	19%	6%	3%
H25.2	2%	18%	5%	55%	10%	7%	4%
H25.3	1%	20%	6%	47%	16%	6%	4%
H25.4	2%	20%	3%	46%	18%	7%	4%
H25.5	1%	28%	3%	48%	9%	9%	2%
H25.6	1%	32%	3%	46%	8%	10%	1%
H25.7	2%	36%	4%	39%	11%	6%	2%
H25.8	10%	39%	1%	37%	6%	5%	3%

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
H25.9	8%	38%	2%	35%	8%	6%	3%
H25.10	7%	35%	3%	37%	10%	5%	3%
H25.11	2%	30%	6%	36%	17%	7%	2%
H25.12	3%	33%	6%	39%	8%	9%	3%
H26.1	2%	32%	5%	42%	9%	9%	2%
H26.2	1%	33%	3%	39%	16%	7%	2%
H26.3	2%	36%	4%	36%	10%	8%	4%
H26.4	2%	33%	2%	37%	14%	10%	3%
H26.5	1%	36%	2%	35%	8%	13%	5%
H26.6	3%	34%	1%	37%	9%	14%	3%
H26.7	13%	38%	0%	34%	8%	6%	2%
H26.8	9%	35%	2%	38%	11%	3%	2%
H26.9	9%	34%	2%	35%	9%	10%	2%

## 2. 自社の取引状況に関する判断(業態ごと)

### ①主食用米の販売数量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「増えた」/「(将来)増える」という見方が前月より強くなり、  
 反対に0に近づけば、「減った」/「(将来)減る」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

#### (ア) 今月の販売数量に関する現状判断DI

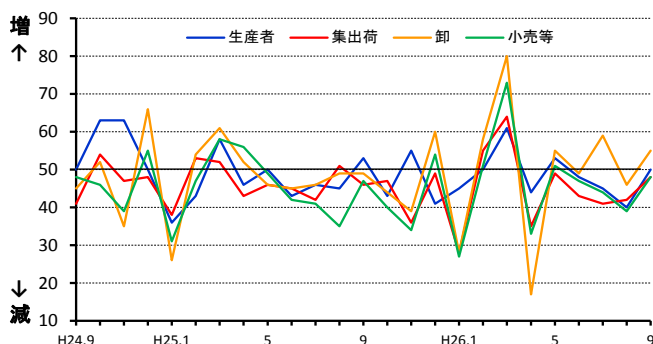
##### a. 先月との比較

生産者	： 前月からの増減	+10 (今月の数値 50)
集出荷	： 前月からの増減	+6 (今月の数値 48)
卸	： 前月からの増減	+9 (今月の数値 55)
小売等	： 前月からの増減	+9 (今月の数値 48)

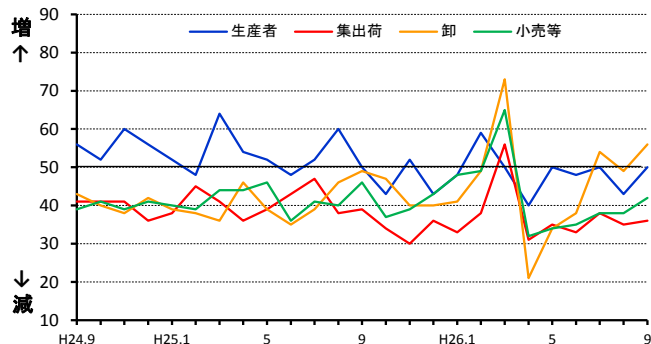
##### b. 前年同月との比較

生産者	： 前月からの増減	+7 (今月の数値 50)
集出荷	： 前月からの増減	+1 (今月の数値 36)
卸	： 前月からの増減	+7 (今月の数値 56)
小売等	： 前月からの増減	+4 (今月の数値 42)

①-ア-a 貴社の”今月”の主食用米の”販売数量”について、  
 ”先月と比較”するといかがですか。



①-ア-b 貴社の”今月”の主食用米の”販売数量”について、  
 ”前年 同月と比較”するといかがですか。



#### (イ) 来月の販売数量に関する見通しDI

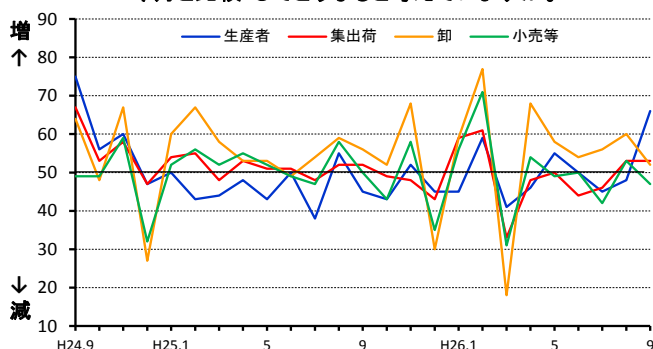
##### a. 今月との比較

生産者	： 前月からの増減	+18 (今月の数値 66)
集出荷	： 前月からの増減	±0 (今月の数値 53)
卸	： 前月からの増減	-8 (今月の数値 52)
小売等	： 前月からの増減	-6 (今月の数値 47)

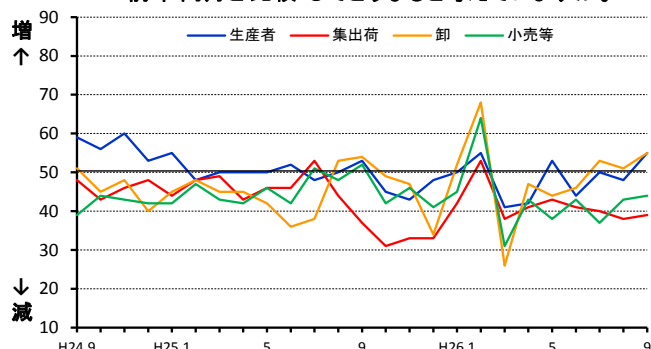
##### b. 前年同月との比較

生産者	： 前月からの増減	+7 (今月の数値 55)
集出荷	： 前月からの増減	+1 (今月の数値 39)
卸	： 前月からの増減	+4 (今月の数値 55)
小売等	： 前月からの増減	+1 (今月の数値 44)

①-イ-a 貴社の”来月”の主食用米の”販売数量”について、  
 ”今月と比較”してどうなると考えていますか。



①-イ-b 貴社の”来月”の主食用米の”販売数量”について、  
 ”前年 同月と比較”してどうなると考えていますか。



## ②主食用米の価格

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「高くなった」/「(将来)高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「低くなった」/「(将来)低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

### (ア) 今月の価格に関する現状判断DI

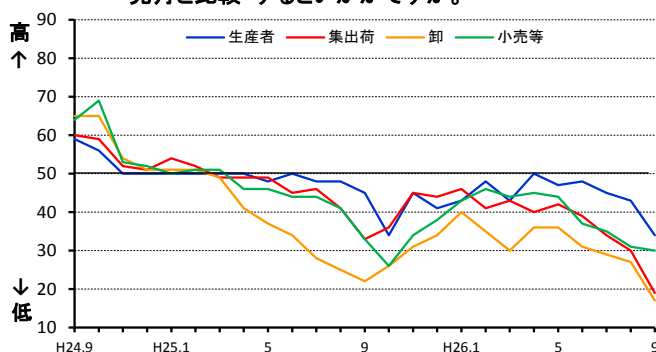
#### a. 先月との比較

生産者	： 前月からの増減	-9	( 今月の数値 34)
集出荷	： 前月からの増減	-11	( 今月の数値 19)
卸	： 前月からの増減	-10	( 今月の数値 17)
小売等	： 前月からの増減	-1	( 今月の数値 30)

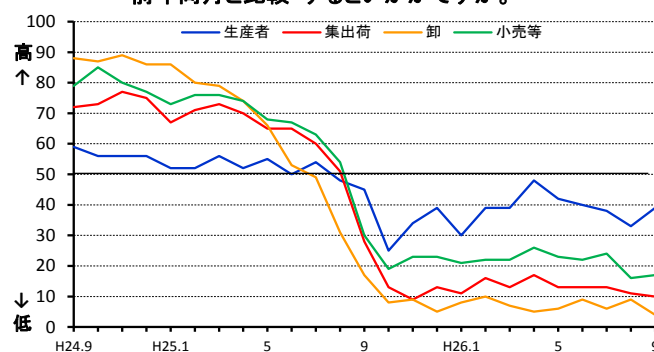
#### b. 前年同月との比較

生産者	： 前月からの増減	+6	( 今月の数値 39)
集出荷	： 前月からの増減	-1	( 今月の数値 10)
卸	： 前月からの増減	-5	( 今月の数値 4)
小売等	： 前月からの増減	+1	( 今月の数値 17)

②-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、"先月と比較"するといかがですか。



②-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、"前年同月と比較"するといかがですか。



### (イ) 来月の価格に関する見通しDI

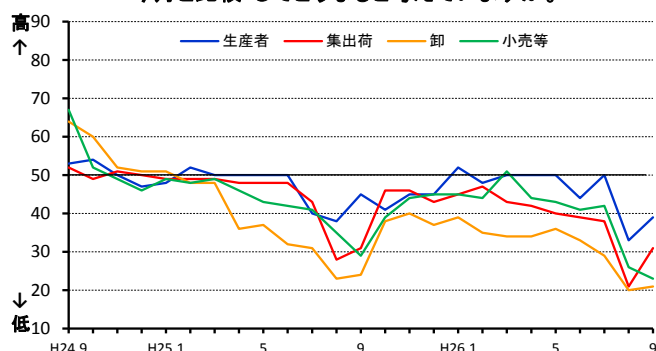
#### a. 今月との比較

生産者	： 前月からの増減	+6	( 今月の数値 39)
集出荷	： 前月からの増減	+10	( 今月の数値 31)
卸	： 前月からの増減	+1	( 今月の数値 21)
小売等	： 前月からの増減	-3	( 今月の数値 23)

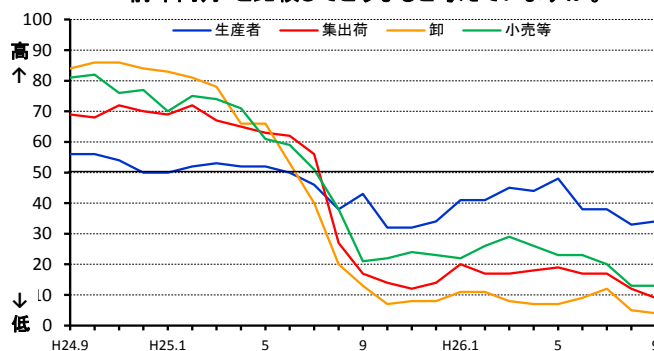
#### b. 前年同月との比較

生産者	： 前月からの増減	+1	( 今月の数値 34)
集出荷	： 前月からの増減	-3	( 今月の数値 9)
卸	： 前月からの増減	-1	( 今月の数値 4)
小売等	： 前月からの増減	±0	( 今月の数値 13)

②-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、"今月と比較"してどうなると考えていますか。



②-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



### ③主食用米の在庫量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「多くなった」/「(将来)多くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「少なくなった」/「(将来)少なくなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

#### (ア) 今月の在庫量に関する現状判断DI

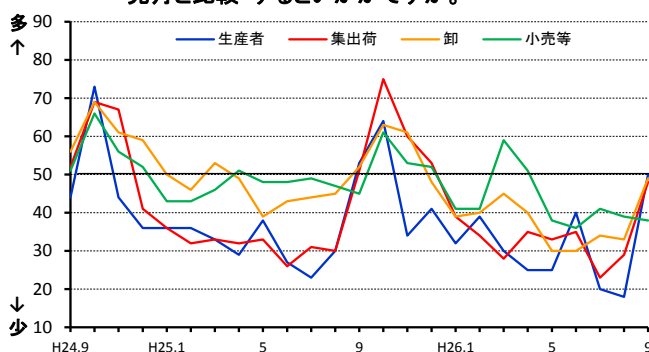
##### a. 先月との比較

生産者：前月からの増減 +32 (今月の数値 50)  
 集出荷：前月からの増減 +19 (今月の数値 48)  
 卸：前月からの増減 +16 (今月の数値 49)  
 小売等：前月からの増減 -1 (今月の数値 38)

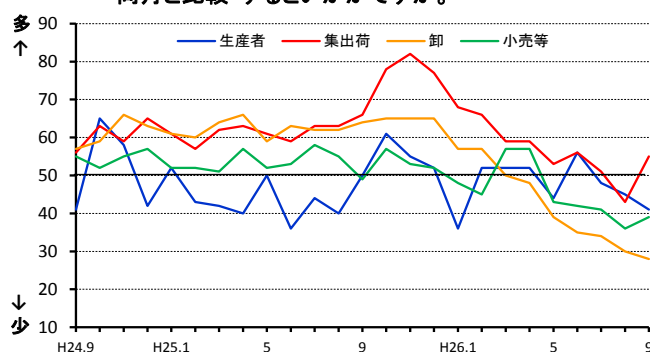
##### b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減 -4 (今月の数値 41)  
 集出荷：前月からの増減 +12 (今月の数値 55)  
 卸：前月からの増減 -2 (今月の数値 28)  
 小売等：前月からの増減 +3 (今月の数値 39)

③-ア-a 貴社の”今月”の主食用米の”在庫量”について、”先月と比較”するといかがですか。



③-ア-b 貴社の”今月”の主食用米の”在庫量”は、”前年同月と比較”するといかがですか。



#### (イ) 来月の在庫量に関する見通しDI

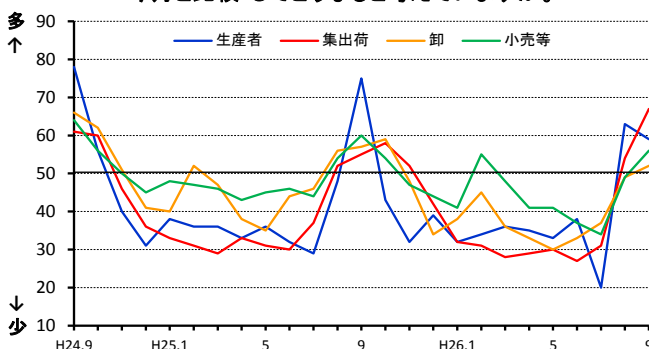
##### a. 今月との比較

生産者：前月からの増減 -4 (今月の数値 59)  
 集出荷：前月からの増減 +13 (今月の数値 67)  
 卸：前月からの増減 +3 (今月の数値 52)  
 小売等：前月からの増減 +7 (今月の数値 56)

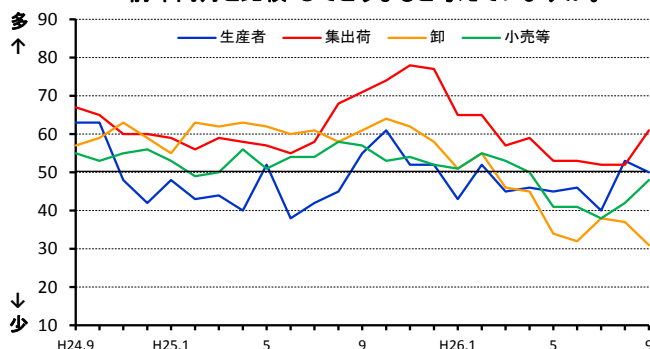
##### b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減 -3 (今月の数値 50)  
 集出荷：前月からの増減 +9 (今月の数値 61)  
 卸：前月からの増減 -6 (今月の数値 31)  
 小売等：前月からの増減 +6 (今月の数値 48)

③-イ-a 貴社の”来月”の主食用米の”在庫量”について、”今月と比較”してどうなると考えていますか。



③-イ-b 貴社の”来月”の主食用米の”在庫量”について、”前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



### 《アンケート方法等》

- 調査期間：毎月1日から25日までの取引状況を踏まえて回答
  - 調査方法：電子メールを利用したアンケート調査
  - 調査対象者：全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の145客体
  - 有効回答数：119客体
    - 生産者 ..... 11
    - 集出荷業者／団体 ..... 26
    - 卸売業者(主に主食用米) ..... 29
    - 小売業者／中食・外食業者 ... 35
    - その他 ..... 18
- ※「その他」は以下の業者です。

  - ・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者
  - ・加工原材料米穀を使用し、加工食品(酒類を含む)を製造・販売する者
- 結果公表：翌月上旬(公表日時は半期ごとにホームページに掲載)

### 《利用上の注意》

- 本アンケート調査は、当面の間試行的に実施するものであり、今後必要に応じて変更することもあり得ます。
- 表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

### 《DIの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断(評価)にそれぞれ点数(評価点)を与え、これらを各回答区分の構成比(%)に乗じてDIを算出します。

ただし、DIの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ(量感)を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じDIが観測されることに注意が必要です。

### 【DIの算出例】

(問) 国内の主食用米の”向こう3ヶ月の米価水準”について、”現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)	48.4				

本件に関する問い合わせ先  
〒103-0001  
東京都中央区日本橋小伝馬町15-15  
公益社団法人米穀安定供給確保支援機構  
情報部 TEL03-4334-2161  
担当：藤原 馬場 小野塚